



海外安全対策情報

(2022年4月)

在アルゼンチン日本国大使館

項目

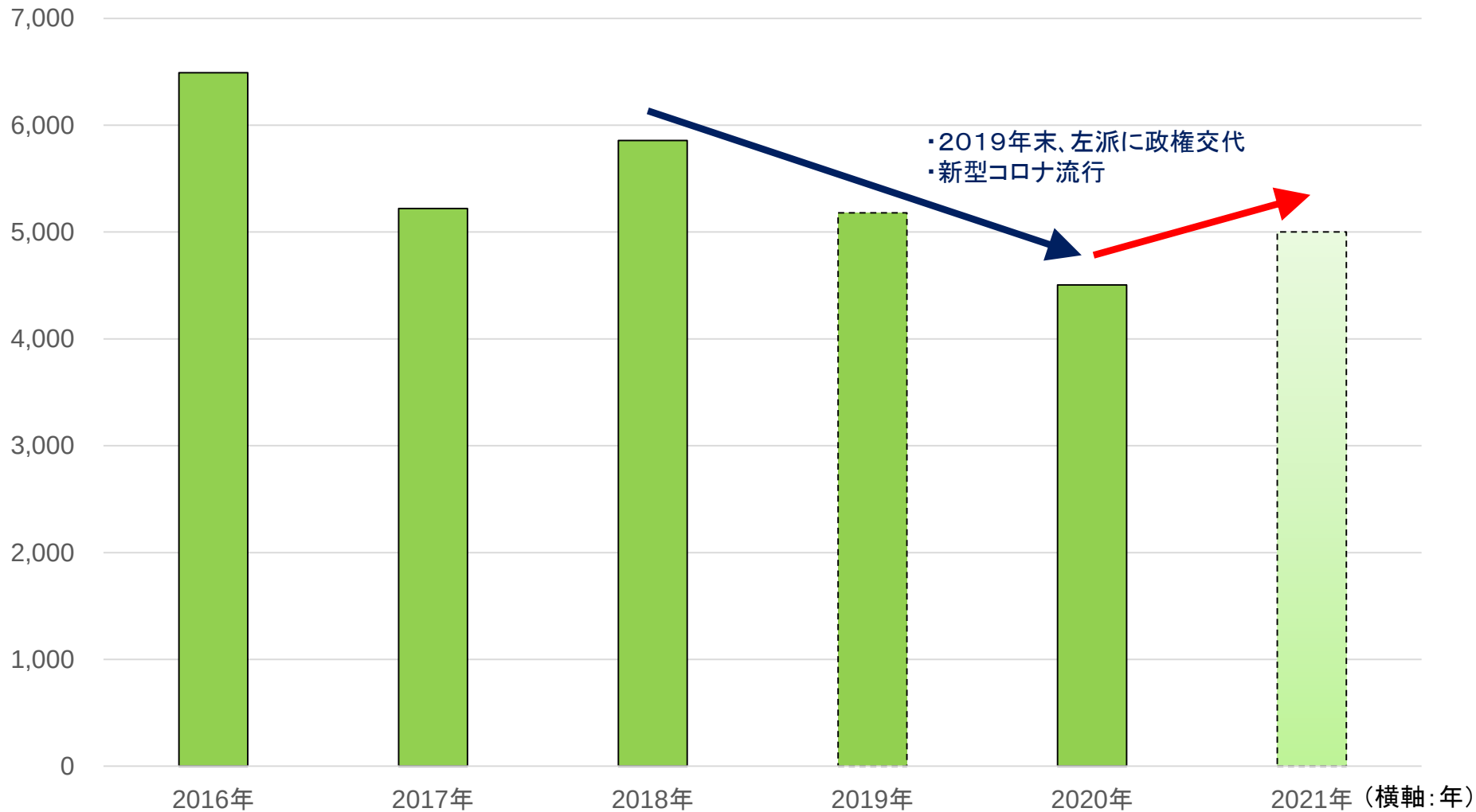
デモ等抗議活動発生動向

	ピケテロ (Piquetero)	バンデラツソ (Banderazo)	カセロラツソ (Cacelorazo)
			
参加者	主として労働組合や社会・人権団体等が動員する 低所得者層	主に中産階級以上の一般市民	
目的	賃上げ、手当支給など待遇改善の要求等	政府に対する不満表明等 (近年の例: 新型コロナウイルス感染対策の外出制限等)	
行動	タイヤを燃やす、横断幕を掲げる、集団で行進して、 長時間にわたり道路を占拠 する等。	自動車が国旗を振りかざし、クラクションを鳴らしながら、オベリスコ周辺等に集結する。	金属製の鍋やフライパンを打ち鳴らす。 (自宅や屋外問わず)
危険性	中(状況による)	低	

● 亜におけるデモ等抗議活動は、一般に平穏に行われ、暴徒化することはまれ。

亜国内における道路封鎖デモ件数の推移

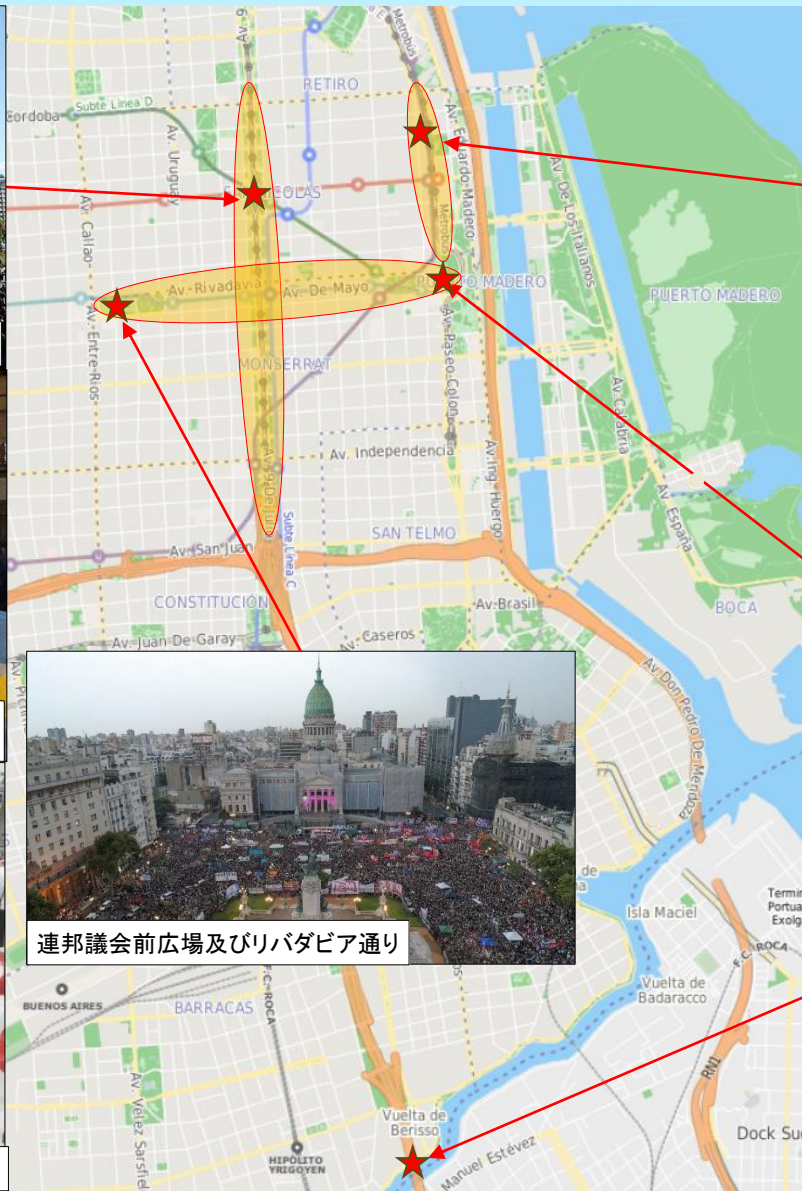
(縦軸: 件数)



● 亜全国における道路封鎖デモ発生件数は、2019年末の政権交代及び2020年の新型コロナウイルス流行を契機に底をうち、2021年は一転して増加傾向。

(グラフは当地主要紙報道を基に当館作成。2019及び2021年は推定)

ブエノスアイレス市等主要デモ多発地域



●デモによって、邦人が多数居住するパレルモ及びベルグラノ地区から、セントロ方面との往来を大きく妨害→外出前にTV・ラジオ情報やナビアプリ「Waze」等を活用して、渋滞回避。



マラドーナ一般弔問市民が警察と衝突

●2020年11月26日、大統領府にて行われた故マラドーナ選手の一般弔問に並ぶ市民の列を、警察が予定より早く締め切ったため、怒った市民が警察と衝突。



●亜国内におけるデモ等抗議活動の多くは、概ね平穏に行われるが、何かのきっかけで治安部隊との衝突にまで発展する可能性

→ 安全の確保、スリ被害等トラブル防止、感染症予防のため、**デモには近付かない！**



デモにおける投石・火炎瓶の使用



●2021年3月10日、IMFとの債務返済関連法案に反対するデモ隊のうち、過激な一部が、亜連邦議会庁舎に対して**投石**、警察に対して**火炎瓶**を投てき。
→ **被害に巻き込まれない**ためにも、**デモ**が行われている場所には、絶対に**近付かない**！

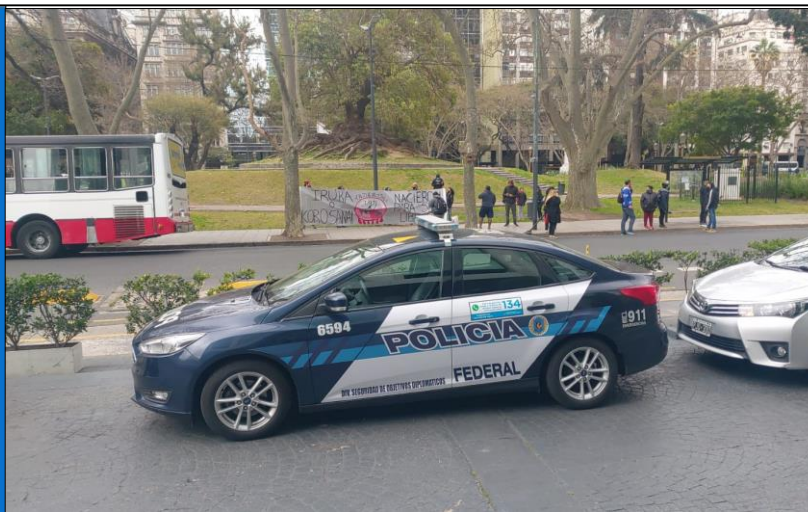


【警察情報】特に注意を要するデモ団体



● 赤色やチェ・ゲバラを使用した横断幕や旗を使用、赤色のベストを着用した集団は、他の団体と比して過激であり危険。 → 絶対に近付かないでください！

●2021年9月1日、当館入居ビル前において、動物愛護団体が日本のイルカ漁に反対する抗議デモを開催。



●当地進出日本企業等に対する大量の抗議メール送り付け等の被害が発生した場合は、当館までご一報ください！



強盗、スリや置きなど犯罪被害に遭われた際は、当館領事班までご一報ください。

皆さまから寄せられた情報を活かして、今後の邦人被害の予防対策に役立てることができます。

ご協力よろしくお願いします！

在アルゼンチン日本国大使館領事班

Eメール：conbsas@bn.mofa.go.jp

電話：011-4318-8220

開館時間：09:00～12:30、14:30～17:00（月～金曜日（祝日除く））

「たびレジ」には
登録したのか
……

